

JR西日本あんしん社会財団

2018年度
第1回

いのちのセミナー

～ひとのいのち 私のいのち を考える～

講師

大林 宣彦

• 映画作家

演題

あなたのいのちと
私のいのちを考える
～あなたと私は^{ひと}人であるから～

日時

2018年5月20日(日)
13:30～15:00※13:00開場

会場

松下IMPホール
(JR・京阪 京橋駅 徒歩10分)

定員

800名(参加無料)

※応募多数の場合は抽選となります。
当日は、参加証をお持ちの方のみ入場・着席していただけます。

応募
方法

ホームページからご応募ください。

JR西日本財団

検索

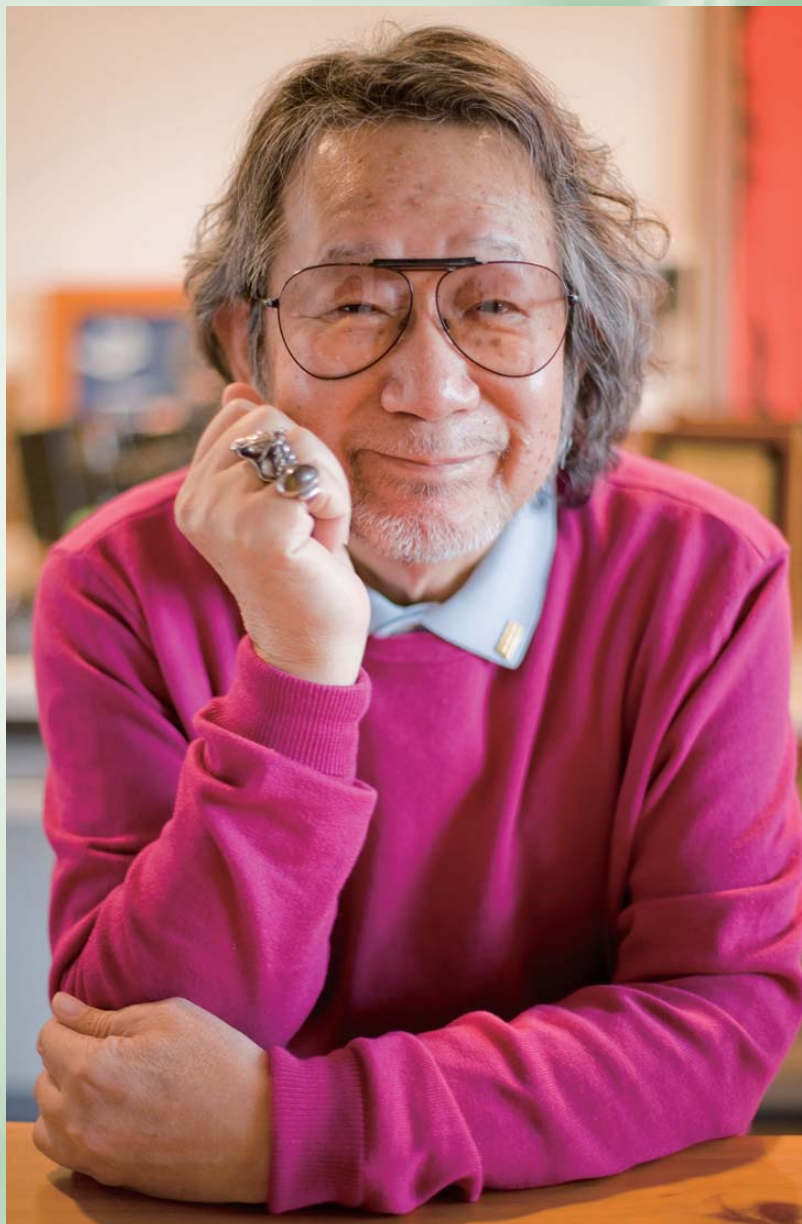
応募
締切

2018年4月23日(月)

お問い
合わせ

JR西日本あんしん社会財団
TEL 06-6375-3202(平日10:00～17:00)

〈主催〉公益財団法人JR西日本あんしん社会財団
〈協力〉西日本旅客鉄道株式会社



公益財団法人

JR-West Relief Foundation

JR西日本あんしん社会財団

2018.3.26～2018.4.23

演題

あなたのいのちと私のいのちを考える ～あなたと私は人であるから～

僕は戦後派ではありません。戦時中に受けた教育を信じていた少年は敗戦を迎え、どう生きていけばいいかわかりませんでした。生きている人間が死んでいるように見え、逆に死者が生きているように感じました。その時の記憶がこれまでの僕の人生の奥底を流れています。僕の両親は僕の背後にいます。気配の中に死者と生くる者がいるのです。2016年8月にガンが見つかり、余命宣告を受けました。戦争で死ねなかった人間がガンごときでは死ねないと、むしろ生きる意欲が湧きました。ガンはいい話し相手になっています。

僕がこれまでどのような思いで映画を作ってきたか、「いのち」についてどう考え生きてきたかをお話ししようと思います。



大林 宣彦氏 プロフィール

1938年広島県尾道市生まれ。3歳の時に自宅の納戸で出合った活動写真機で、個人映画の製作を始める。16mmフィルムによる自主製作映画『ÉMOTION＝伝説の午後・いつか見たドラキュラ』が、画廊・ホール・大学を中心に上映され、高い評価を得る。『喰べた人』(63)はベルギー国際実験映画祭で審査員特別賞を受賞。1977年『HOUSE／ハウス』で商業映画に進出。同年、ブルーリボン新人賞を受賞。故郷で撮影された『転校生』(82)『時をかける少女』(83)『さびしんぼう』(85)は“尾道三部作”と称され親しまれている。『異人たちの夏』(88)で毎日映画コンクール監督賞、『北京的西瓜』(89)で山路ふみ子映画賞、『青春デンデケデケデケ』(92)で平成4年度文化庁優秀映画作品賞、『SADA』(92)でベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞、『理由』(04)で日本映画批評家大賞・監督賞、藤本賞奨励賞を受賞。『この空の花－長岡火物語』(11)『野のななのか』(14)は、TAMA映画祭にて最優秀作品賞等受賞。最新作『花筐／HANAGATAMI』2017年12月16日公開。キネマ旬報監督賞、毎日映画コンクール日本映画大賞を受賞。2004年春の紫綬褒章受章、2009年秋の旭日小綬章受章。

お申込み方法

ホームページ
から

JR西日本財団

検索

ホームページの応募フォームからお申込みください。

※応募多数の場合は抽選となります。

ホームページから応募ができない場合は、ハガキに「第1回いのちのセミナー参加希望」と明記の上、①氏名・フリガナ ②郵便番号 ③住所 ④電話番号を記載し、下記の宛先へお送りください。

※1枚につき1名様のご応募とさせていただきます。

〒530-8341 大阪市北区芝田2丁目4番24号 JR西日本あんしん社会財団

締切:2018年4月23日(月) ※ハガキの場合は必着

- ご応募いただいた個人情報は当セミナーの運営及び当財団からのお知らせ以外の目的には使用しません。
 - ご参加いただける方には参加証をお送りします。(2018年5月8日頃を予定)
- ※抽選になった場合の結果のお知らせは参加証の発送をもって代えさせていただきます。

